

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 田原小 学校】

1 実践テーマ	Ⅲ・Ⅴ
2 実施対象者 (学年・人数)	北九州市立田原小学校 4年生・3学級＋特別支援学級2学級・95名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間 「心のバリアフリー」) ② 行事名 (車いすバスケットボール体験・チャンピオンズ カップ見学) ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子バスケットの選手の方の話を聞き、競技用車イスの使用体験をすることで、車イスバスケットボールという競技に対する興味・関心の向上を図り、障害を持った片が力強く前向きに生きていこうとしていることを学ぶ。 ・車イスを使って生活する苦労や工夫を知り、体験を通して障害をもった方たちと共生する社会について考える。
5 取組内容	第1次 9月 ①「だれもが関わり合う」ことについて考えよう。(国語と合科) ②テーマを決めて、本で調べよう。(3時間) ③「だれもが関わり合うための工夫や道具を発表しよう。」発表準備をしよう。(2時間) ④発表しよう。(2時間) 第2次【本事業展開】 ⑤車イスのスポーツについて知ろう。 Eテレや本などで車イススポーツを知る。 車イスラグビー 車イステニス 車イスバスケットボール ⑥車イスバスケット講習に参加しよう。(2時間) 10月29日(火) 3校時・4校時 ・車イスバスケットの競技者(福澤翔氏)から話を聞き、競技用車イスの使用体験を行った。福澤氏から車イスバスケットボール

競技に関する説明や車イスの操作方法に関するお話をしていただいた。昨年度借りられた車イスは 5 台であったが、本年度は 10 台借りることができた。4 年生全員が体験をすることができそうであったため、説明よりも体験の時間を多くとり、車イスの操作をはじめ、ドリブルをしたりシュートをしたりして車イスバスケットボールの動きを十分に体験することができた。

・講話や体験を通して、人間の強さ・生きがい・仲間・豊かな生活等について考えることができた。



⑦ふり返りをしよう。(1時間)

・午後から、講習会や体験についてのふり返りを行った。

⑧もっと詳しく調べていくことを決めて、グループ分けをしよう。(1時間)

調べていこう。(図書3時間 パソコン2時間)

11月1日~11月9日

⑨車イスバスケットボール国際試合を観戦しよう。(4時間)



⑩ふり返りをしよう。(1時間)

⑪発表方法について話し合おう。(1時間)

⑫発表準備をしよう。(1時間)

⑬発表をしよう。

⑭絵本の読み聞かせを聞く。

「みえるとかみえないとか(ヨシタケシンスケ著)」

6 主な成果	<p>講師の福澤翔氏から車イスバスケットボールの競技のルールについて説明を受け、車イスバスケットボールという競技について理解を深めた。10台の競技用車イスを借りることができたため、実際に児童に体験させることが十分できた。車イスバスケットボール用車イスの操作方法やドリブルの仕方等について説明をして頂くことで、児童が車イスバスケットボールという競技に関心を持ち、理解を深めることにつながった。</p> <p>また、「北九州チャンピオンズカップ国際車イスバスケットボール大会」を観戦する機会を得て、実際の競技を見ることで迫力を感じ、多くの児童が感動することができた。講師の福澤氏が会場にいたことから、さらに児童の関心も高まっていった。</p>
7実践において工夫した点(事業の特色)	<p>一時的な行事として位置づけるのではなく、児童が普段から行う学習の一環として位置づけていこうという考え方で、本校のカリキュラムの検討を行った。4年生の総合的な学習の時間に行う福祉の学習と関連づけて学習することが可能ということで、4年生で実施することとした。今後も継続していくことが可能である。</p>
8主な課題等	<p>昨年度、車イスバスケットボール用車イスを貸し出してくれたアレアスには、本年度車イスが1台もなく(すべて貸し出し済)、貸し出し先の横代小学校と交渉して車イスをお借りした。横代小学校も、北九州大学に毎週末貸し出していたが、日程調整を行ってお借りすることができた。</p> <p>車イスバスケットボール用車イスは車輪を外すことはできるものの、折りたたむことができず、自家用車での運搬では台数が限られてしまう。大きなトラックがあると運搬がやりやすい。本事業の中で運搬費として支出できると事業を進めやすい。(レンタカー等を借りられるとよい)</p>
9来年度以降の実施予定	<p>本年度の取り組みが、4年生にとって有意義な学習になったことから来年度もできるならば福澤氏を講師招聘して車イスバスケットボールの魅力伝える講演会・体験会を実施したい。</p> <p>○ 4年生 バスケットボール講演会・体験会</p>